

被災された方々の自立支援にご協力ください

みやぎ生協「手作り商品カタログ」を全国配布へ



手作り商品カタログの表紙。

みやぎ生協では、東日本大震災後の5月より、「みやぎ生協ボランティアセンター」を設置し、被災された方に寄り添った活動を行ってきました。

被災地のニーズは刻一刻と変化しており、発災2年目の課題は「ボランティアとして生活再建のためにどのような経済的支援ができるか」です（みやぎ生協生活文化部・須藤敏子さん／本

誌18号3面インタビューより）。

そこで、みやぎ生協ボランティアセンターでは、手作り商品を紹介するカタログを作成し、全国の生協に活用を呼び掛けることにしました。

このカタログには、生活再建のために取り組む方・震災で仕事や販売先を失った福祉共同作業施設などの手作り商品が掲載されています（24ページ。1ページに1団体ずつ商品紹介を掲載し、全67点）。

ご購入やお問い合わせは、直接、各団体の「申し込み・連絡先」への連絡となります。「商品カタログは11月28日より、希望する生協に配布を開始しました。1生協最大30部までお届けできます。ぜひお声掛けいただけたら

と思います」（須藤さん）。

カタログご利用の連絡は、FAXまたはメールで、生協名、担当者名、必要部数を明記の上、みやぎ生協ボランティアセンター（FAX022-218-3663、メールsn.mfukushinet@todock.jp 担当：須藤・山田）まで。



カタログの商品紹介ページ。

全国で商品を通じた復興支援を

日本生協連のインフラを生かし、東北の商品を全国の生協へお届け



宮城県の「ふかひれ濃縮スープ」（気仙沼ほてい（株））。

日本生協連では、商品供給を通じた被災地復興支援として、全国の生協に、岩手・宮城・福島各県の生産品や原料を使用した商品を紹介し、普及を進める取り組みを推進しています。

商品は、いわて生協・みやぎ生協・コープふくしまから紹介・販売依頼があった商品をリスト化して提示し、各生協はそのリストの中から、



福島県の「手繰りめん」（（有）やない製麺）。

供給する商品を選択。日本生協連の受発注・物流インフラなどの機能を活用し、全国の生協に届けることができるという仕組みです。商品は、加工品が中心です。

コープ九州では、全国に先駆け、11月22日～25日の日程で、コープ九州内16店舗で販売を開始。合計20種類の商品を供給しました。



エフコープ新宿店(店内)の復興支援商品コーナー。